

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	GreenApple大沢		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 10日		令和7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名 (回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 10日		令和7年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名 (回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの立案をチームで行う。	活動が固定化しないように、職員会議で意見を出し合い、新しい活動や課外活動先の提案を行っている。	金銭の支払いや交通機関の自立など、年齢や生活自立に向けたねらいを設定していく。
2	利用者の意見を取り入れた活動提案を行う。	子ども会議で出た意見を基に、調理活動の献立や課外活動先の選定を行っている。利用者自身の意見を活動に反映することで、充足感や達成感を得られるよう支援するとともに、自立性や社会性の向上につながる活動提案を行っている。	活動内容の選定だけでなく、企画・準備・役割分担・振り返り等の過程にも主体的に参加できる機会を充実させるとともに、一人ひとりの特性に応じた多様な意思表出の方法を取り入れ、より参加しやすい環境づくりに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容に偏りが生じることがある。	小学校高学年から中高生の割合が増えてきており、年齢相応のコミュニケーションや自主性を重視した支援ニーズが高まってきている。一方で、既存の活動内容は低学年を中心とした構成になることが多く、高学年に適した活動や役割設定、余暇活動の充実が課題となっている。	高学年向けに、ソーシャルスキルを意識したプログラムや、将来的な自立につながる活動を取り入れ、活動内容の幅を広げていく。
2	家庭との情報共有頻度に差が出ることもある。	自主通所を利用する児童が増えてきており、送迎時に保護者へ直接申し送りを行う機会が減少している。そのため、連絡帳で日々様子を共有しているものの、家庭との情報共有頻度に差が生じる場合がある。	必要に応じて電話連絡を行い、保護者との情報共有方法を工夫し、継続的な連携強化を図っていく。

事業所名		GreenApple大沢				公表日		2026年5月25日			
		利用児童数				36名		回収数		14名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2	0	0					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	3	配置数は的確だと思いが、応援で来ている職員がどこまで見てくれるか不安だ。	利用者一人ひとりの特性や留意事項を申し送りしたのち、応援業務に当たっております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	3	2	GreenApple合同活動があるため特に無くて良いと思う。	公園やコミュニティーセンターの利用はしていますが、意図的な交流の場は設けていません。法人内の別事業所と合同活動を行うことで、他地域の子どもたちとの関わりの機会を設けています。			
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1	0	0					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	2	個人的に外部で行うので、なくても良いと思う。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	0	0	0	その日の活動で不安なことを伝えると、活動終わりにフィードバックしてくれてありがたい。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	1	2	①きょうだいがいないため必要性は分からないが、年1回の保護者会で充分だと思う。 ②きょうだい向けのイベントの機会があれば参加したい。 ③保護者会の日に都合があわなかったため、参加ができず残念でした。	②現在きょうだい交流など支援の場は設けていませんが、今後はきょうだいに参加できる行事や情報提供などを検討していきます。 ③保護者会での内容は、別日にご紹介することが可能ですので、お申し出下さい。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	1	Instagramがいつも楽しみです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	1		事業所内にて常時閲覧いただけるになっています。また、ホームページへ掲載もしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	0		毎年5月と11月に火災・地震の避難訓練、6月に水害を想定した縦型避難訓練を実施しています。通信Instagram・ブログにて発信しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	1	あまりに暑い日や天気の良い日は少し不安な時がある。	夏季の外活動は年々縮小しています。猛暑、荒天時に備え、屋内活動の充実を図ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	1		該当事案が発生した際には、迅速に児童（受診等）及び保護者対応を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	0	「普段・土曜日・長期休み」の区別もついて、色々な場面を楽しみにするようになりました。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	個別のワークを作成していただいたり、毎回GAさんからの愛情を感じています。	

事業所名		GreenApple大沢			公表日	令和8年 5 月 25 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	個別対応を行う職員・全体支援を行う職員のバランスを加味しながら、適切な職員数の配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	建物構造上、施設内に段差が生じる箇所があるため、「段差注意」の注意喚起をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	児童の特性に合わせた席次設定や、パーティションで活動スペースを区切るなど環境調整を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	気持ちのクールダウンが必要な場合や、個別対話・体調不良の際などに使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的な職員面談やミーティングを通して、振り返りと目標設定を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員面談やミーティングを通して、振り返りと目標設定を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的な職員面談を行い、業務や支援にまつわる疑問や意見を聞き取り、改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現在は第三者評価を行っていない。今後は必要に応じて実施し、業務改善に繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画に沿った内部研修の他、外部研修への参加も積極的に行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	面談とアセスメント、指導員の意見を踏まえた上で計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画作成時には指導員から現状の様子や見立て等を聞き取り、児童の最善の利益を考慮した計画となるよう努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各目標の具体的な支援内容を記載し、支援上の留意点を定め設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動が固定化しないように、職員会議で意見を出し合い、新たな活動や課外活動先の提案を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節ごとの行事や課外活動、児童の到着時間や特性に応じたプログラムを考案している。その他に、子ども会議から出た意見を基に、課外活動先の選定もしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	日々のミーティングにて支援の留意事項や役割分担等の確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	業務終了後に振り返りを行い、支援記録を作成している。また申し送りノート等を活用し、情報共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録に記載することで課題点や成長度の共有を行い、次回の支援での解決策や新たな支援プランを協議している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月ごとの保護者面談と児童のモニタリング、個別支援計画作成会議を踏まえて計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自己決定が難しい利用者に対しては、絵カードを使った支援を行う他、選択肢を絞り、少ない選択肢から選べるよう工夫をしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者・児童発達支援管理者が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	子ども家庭支援センターや訪問看護ステーション、学校等の関係機関と定期的な会議を実施している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	下校時間や行事予定等については、保護者様を通じて情報共有を行っている。近年では、学校から直接情報共有を受けるケースも増えてきている。また、不登校傾向のある利用者については、学校をはじめとした関係機関と連携を図りながら、継続的な情報共有を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	子ども発達センター主催の児童発達支援事業所連絡会に参加し、児童発達支援施設との情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	昨年度は2名が就労へ移行し、内1名は当法人内の就労継続支援B型へ移行した。実習期間中においても、就労先職員や保護者から聞き取りを行い、円滑な移行のため、関係者間での情報共有に努めた。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	子ども発達センター主催の放課後等デイサービス事業所連絡会・児童発達支援事業所連絡会に参加。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	公園やコミュニティーセンターの利用はしているが、意図的な交流の場は設けていない。法人内の別事業所との合同活動を行うことで、他地域の子ども同士での関わりの機会を設けている。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	各連絡会には管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時にて情報共有を行い、共通理解を深めている。また必要に応じて電話相談も行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約面談時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時にはご家族の意向の聞き取りを行い、作成した計画に反映するように努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的な面談の他、電話・メール・連絡帳等にて相談援助を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	令和7年10月に保護者会を実施。支援内容や活動内容の紹介のほか、育児相談の時間を設け、地域課題や各家庭ごとのお困り事を共有することができた。きょうだい交流を設ける支援は行っていないが、今後ニーズを捉えながら交流の場を検討していく。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月通信を発行している。また、ホームページ、インスタグラムでも活動の様子を定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	当日のスケジュールをホワイトボードで提示し、見通しがつくようにしている。また発達段階に合わせ、個別スケジュールや絵カード等の必要な伝達方法も用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	毎年ハロウィンの時期では近隣の店舗や高齢者施設等にご協力をいただき、イベントを実施している	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年2回の防災避難訓練や年間計画に沿った研修を通して周知している。保護者様へは、契約面談時に説明し、常時閲覧できるよう事業所に設置している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	訓練と研修を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時のアセスメントにて聞き取りを行っている。利用途中で服薬の増量・変更があった際はお知らせいただき、職員間で共有を行っている。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	診断書・指示書の控えを保管し、外食や調理活動の際に最善の注意を払っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に基づき、備蓄品の確認、災害用伝言ダイヤルの試用、避難経路の確認および避難訓練を実施している。また、浸水ハザードマップの指定区域に位置していることから、年1回の水害訓練も実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画を策定し、定期的な研修と訓練を実施している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	入職時研修の他、年1回の内部研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束適正化検討委員会を開催し、3要件の再確認と解除に向けた取り組みを検討している。現在、自事業所に対象利用者無し。	

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	GreenApple大沢（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 10日		令和7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 10日		令和7年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 15 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型事業所であることで、放課後等デイサービスに移行した後も環境の変化が少なく、安心して過ごすことができる。	放課後等デイサービスの利用児童との交流の場を日常的に設けることで、見通しを持った状態でサービスの移行をすることができる。	サービス移行期の児童に対しては、定期的な活動体験を行うことで、集団参加への場を設けていく。
2	多機能型事業所であることや、同法人内で放課後等デイサービスを3事業所運営していることで、就学後のサービスへの移行がスムーズである	お住まいの地域に合わせて移行先を提案しており、就学後も安定して通所ができるように法人内で連携をしている。	来年度は自事業所でのサービス移行を予定。就学先の相談を含め、保護者様のニーズに沿ったプランを提案できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育が主であるため、小集団での活動やプログラムを提供できていない。	放課後等デイサービスの利用児童との年齢差の開きが大きく、小集団活動を行うことができない。	少しずつ自由遊びの時間に玩具を一緒に使うなど、自発的に関わろうとする場面も見られてきた。今年度はサービス移行期の児童に対して、定期的な活動体験を行うことで、集団参加への場を設けていく。

事業所名 GreenApple大沢（児童発達支援）

公表日 令和7年 5月 25 日

利用児童数

1名

回収数

1名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	0	1		近隣の公園の利用はしていますが、意図的な交流の場は設けておりません。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0		
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0		事業所内にて常時閲覧いただけるになっています。また、ホームページへ掲載もしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

事業所名		GreenApple大沢		公表日		令和8年 5月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	多機能型の事業所であるため、児童発達の個別支援を行う職員・放デイ全体で支援を行う職員のバランスを加味しながら、適切な職員数の配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	建物構造上、施設内に段差が生じる箇所があるため、「段差注意」の注意喚起をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的な職員面談やミーティングを通して、振り返りと目標設定を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員面談やミーティングを通して、振り返りと目標設定を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的な職員面談を行い、業務や支援にまつわる疑問や意見を聞き取り、改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現在は第三者評価を行っていないが、今後は必要に応じて評価を依頼し、業務改善に繋げていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画に沿った内部研修の他、事例検討への取り組みや外部研修への参加も積極的に行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	面談とアセスメント、指導員の意見を踏まえた上で計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画作成時には指導員から現状の様子や見立て等を聞き取り、児童の最善の利益を考慮した計画となるよう努めている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各目標の具体的な支援内容を記載し、支援上の留意点を定め設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	児童の特性を考慮した活動が行えるよう、ミーティングにて立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節ごとの工作や、児童の特性に合わせたプログラムを立案し、5領域に沿ったプログラムを週替わりで提供している。		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	当日のミーティングにて支援の留意事項や役割分担等の確認を行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	業務終了後に振り返りを行い、支援記録を作成している。また申し送りノート等を活用し、情報共有を行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録に記載することで課題点や成長度の共有を行い、次回の支援での解決策や新たな支援プランを協議している。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月ごとの保護者面談と児童のモニタリングを行い、個別支援計画作成会議にて情報共有を行い、見直しをしている。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者・児童発達支援管理者が参加。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	子ども家庭支援センターや訪問看護ステーション、学校等の関係機関と定期的な会議を実施している。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	子ども発達センター主催の児童発達支援事業所連絡会に参加し、他の児童発達支援施設との情報共有を行っているが、現在利用している児童の通園先の幼稚園との情報共有は行っていない。	今後保護者からの要望があった際は、通園先の保育所等との情報共有を行っていく。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		放課後等デイサービスへの移行時には、法人内の他事業所への情報共有を行っているが、学校への情報提供は行っていない。今後保護者からの要望があった際は、随時対応をしていく。
28	(28～30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	子ども発達センター主催の放課後等デイサービス事業所連絡会・児童発達支援事業所連絡会に参加。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や引き渡し時にて情報共有を行い、共通理解を深めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		今後は、利用ご家族全体へ向けた対応力向上につながる情報発信を検討していきたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約面談時に説明を行っている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時にはご家族の意向の聞き取りを行い、作成した計画に反映するように努めている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的な面談の他、電話・メール・連絡帳等にて相談援助を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	令和7年10月に保護者会を実施。支援内容や活動内容の紹介のほか、育児相談の時間を設け、地域課題や各家庭ごとのお困り事を共有することができた。きょうだい交流を設ける支援は行っていないが、今後ニーズを捉えながら交流の場を検討していく。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月通信を発行している。また、ホームページ、インスタグラムでも活動の様子を定期的に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	当日のスケジュールをホワイトボードで提示し、見通しがつくようにしている。また発達段階に合わせ、個別スケジュールや絵カード等の必要な伝達方法も用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	毎年ハロウィンの時期では近隣の店舗や高齢者施設等にご協力をいただき、イベントを実施している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年2回の防災避難訓練や年間計画に沿った研修を通して周知している。保護者様へは、契約面談時に説明し、常時閲覧できるよう事業所に設置している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	訓練と研修を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時のアセスメントにて聞き取りを行っている。利用途中で服薬の増量・変更があった際はお知らせいただき、職員間で共有を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	診断書・指示書の控えを保管し、外食や調理活動の際に最善の注意を払っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に基づき、備蓄品の確認、災害用伝言ダイヤルの試用、避難経路の確認および避難訓練を実施している。また、浸水ハザードマップの指定区域に位置していることから、年1回の水害訓練についても実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画を策定し、定期的な研修と訓練を実施している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	入職時研修の他、年1回の内部研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	法人内で身体拘束適正化検討委員会を開催し、3要件の再確認と解除に向けた取り組みを検討している。現在、自事業所に対象利用者は無し。		